

活用場面

CI

タブレット端末を活用して、自分の発表の仕方や発表内容について考える学習

活用したソフトや機能：ペイント機能

学 年：小学校第2学年 教科：生活科

単 元 名：もっとなかよしまちたんけん

○ 本時について(11/15)

(1)ねらい

・まちたんけんで見つけた施設のすてきなところを紹介する活動を通して、1年生に紹介したい内容やその発表方法を考えることができる。

(2)評価規準

・1年生に紹介したいすてきなところを考え、その発表方法を考えている。【思考・判断・表現】

(3)学習展開

過程	学習活動	ICT活用場面
導入	1 本時の課題をつかみ、見通しをもつ。 1年生に紹介したい化石博物館やサイエンスワールドのすてきなところを考えよう。	
展開	2 1年生に紹介したい内容を考える。 ・撮影してきた写真にインタビューをして分かったことなど、1年生に伝えたい内容のキーワードを書き込む。 3 1年生に紹介する内容を発表する。 1年生が「行ってみたいな」「すごいな」「見たいな」と思ってもらえるようにどんな発表にするとよいのか交流をしよう。	・画像にキーワードを書き込んだり、動画を活用したりすることで、自分が伝えたいと思った施設のすてきなところを伝える発表方法を選択する。
終末	4 発表の仕方を交流する。 ・「サイエンスワールドには、紙飛行機をつくることができる場所があるよ。作り方は簡単で1年生の子も作ることができて、何回も飛ばして遊べるよ。」 ・「自分たちで作ってみて、それを1年生に見せてあげると喜んでくれると思うよ。動画で作り方を紹介するのもいいね。」 5 本時の学習の振り返りをする。 僕が紹介したいことは、サイエンスワールドで、紙飛行機が作れるということです。できれば、作り方を動画で紹介したいな。きっと1年生は喜んでくれると思う。	 ・画像をプロジェクターで拡大し、見やすさをチームで確認できるようにする。

活用の際のワンポイント！

- 児童に「誰を対象とするのか・何を伝えるのか・どのような方法で伝えるのか」を問いかけ、相手意識や目的意識を明らかにしたうえで、活動することが大切です。
- お互いの思いを伝えあう場面を何度も設定したり、具体的にペイント機能で修正を加えたりすることで、各自が自分の内容をよりよくして行くことができます。

実践提供校：瑞浪市立明世小学校